

動作環境・必要条件

OS	Microsoft Windows 11 Microsoft Windows 10 (64 ビット) Microsoft Windows Server 2022 Microsoft Windows Server 2019 Microsoft Windows Server 2016
CPU	2GHz以上 ※使用するOS側の制限により必要なCPUが変更になる場合があります。
メモリ	2GB以上 ※使用するOS側の制限により必要なメモリが増える場合があります。
備考	CD-ROMドライブ 1024×768ドット以上のディスプレイ

標準価格 / 年間サポート料金

EDPdriver Professional版 / EDPdriver 5577版		
ライセンス	標準価格 (税別)	年間サポート料金 (税別)
1ライセンスパッケージ	125,000 円	12,500 円
5ライセンスパッケージ	420,000 円	42,000 円
10ライセンスパッケージ	740,000 円	74,000 円
フリーライセンスパッケージ	1,200,000 円	120,000 円

※年間サポート料金は、購入より1年間は無償となります。

※ライセンスは、インストールするPC1台ごとに必要です。

1台のPCにインストールされたEDPdriverを共有プリンターとして他のPCから利用することはできません。

※1/5/10ライセンスパッケージのライセンス範囲は、同一事業所内です。

※フリーライセンスパッケージのライセンス範囲は、同一法人内です。

EDPdriver Server版 / EDPdriver 5577 Server版				
ライセンス	デバイスライセンス	インストールライセンス	標準価格 (税別)	年間サポート料金 (税別)
基本ライセンスパック	5	1	350,000 円	35,000 円
フリーライセンスパック	無制限	無制限	2,600,000 円	260,000 円

※EDPdriver Server版 / EDPdriver 5577 Server版のライセンスには、デバイスライセンスとインストールライセンスがあります。

デバイスライセンス…… EDPdriver / EDPdriver 5577が管理できる複合機 / プリンター (EDPdriver / EDPdriver 5577のWindowsプリンタオブジェクト)の制限数となります。

インストールライセンス…… EDPdriver / EDPdriver 5577をインストール可能なPCの制限数となります。

※年間サポート料金は、購入より1年間は無償となります。

※ライセンス範囲は、同一法人内です。

追加デバイスライセンス				
ライセンス	デバイスライセンス	インストールライセンス	標準価格 (税別)	年間サポート料金 (税別)
追加デバイスライセンス 1	1	0	100,000 円	10,000 円
追加デバイスライセンス 5	5	1	350,000 円	35,000 円
追加デバイスライセンス 10	10	2	620,000 円	62,000 円
追加デバイスライセンス 30	30	6	1,690,000 円	169,000 円

※追加デバイスライセンスは、基本ライセンスを購入したお客様のみ購入することができます。

※年間サポート料金は、基本ライセンスの次年度更新より追加となります。

(例)6台の複合機 / プリンターを管理する場合

基本ライセンスパック + 追加デバイスライセンス 1

→ ○ 6台までの複合機/プリンター (EDPdriver / EDPdriver 5577のWindowsプリンタオブジェクト)が管理できるPCを1台構築できます。

(例)10台の複合機 / プリンターを管理する場合

基本ライセンスパック + 追加デバイスライセンス 5

→ ○ 10台までの複合機/プリンター (EDPdriver / EDPdriver 5577のWindowsプリンタオブジェクト)が管理できるPCを2台構築できます。

※最新情報については、弊社公式サイトをご覧ください。

EDPdriver はエイセル株式会社の登録商標です。

Microsoft および Windows、Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他記載されている会社名・製品名は、各社の登録商標または商標です。

■お問い合わせ先(販売元)

エイセル株式会社

〒102-0083 東京都千代田区麹町3丁目1番地1 麹町311ビル

TEL: (03)3263-6421 FAX: (03)3263-6516

E-Mail: info-edpdriver@acel.co.jp

URL: https://www.acel.co.jp

・よくあるご質問を、ホームページでご紹介しております。



※この印刷物の内容は、2024年12月現在のものです。



EDPdriver EDPdriver 5577

ホスト連携用プリント支援ソフトウェア



EDPdriver / EDPdriver 5577 ホスト連携用プリント支援ソフトウェア

ホスト～端末エミュレーター経由で出力されるESCPプリントデータ または 5577プリントデータから変換したESCPプリントデータに対して、富士フィルムビジネスイノベーション(株)独自の拡張コマンドを付与して印刷することを目的としたホスト連携用プリント支援ソフトウェアです。富士フィルムビジネスイノベーション(株)製プリンターとEDPdriver / EDPdriver 5577を組み合わせることで、ホストからの出力処理(印刷/FAX)を支援するソリューションを提供します。

★EDPdriver / EDPdriver 5577はプリンタードライバーです。Windows上のプリンターオブジェクトとして登録することで利用可能となります。

EDPdriver Professional

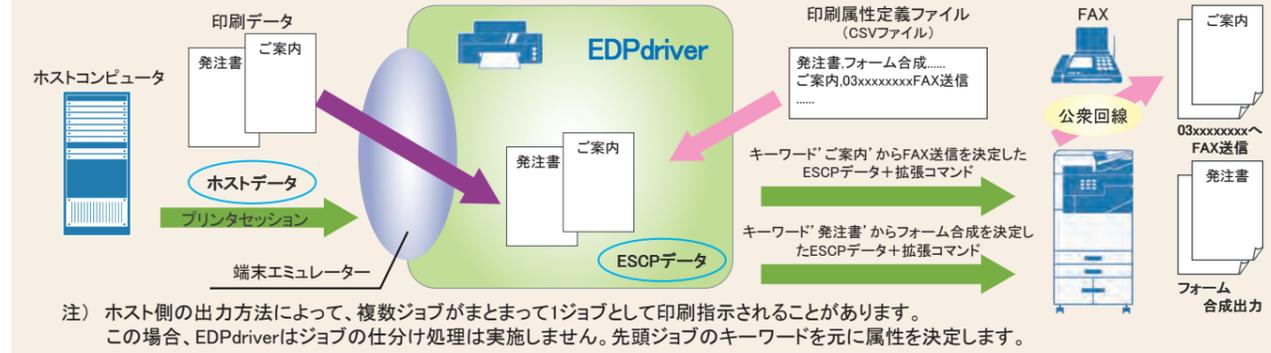
- GUIによる印刷属性の設定
通常のプリンタードライバー同様にドライバプロパティ画面から印刷属性を設定できます。
- プリンターセッション毎に印刷属性を設定して印刷
異なる印刷属性を設定したEDPdriverのWindowsプリンターオブジェクトを作成しておき、そのプリンターオブジェクトへ端末エミュレーター経由で出力すると、それぞれのオブジェクトに設定しておいた印刷属性で印刷されます。

EDPdriver Professionalを活用した印刷処理の流れ(イメージ)



- データ中のキーワードを元に印刷属性を自動決定して印刷する「データ属性自動判別機能」搭載！
プリンターセッションは1つで、流れてくるデータの任意の文字列(キーワード)から印刷属性を自動決定して印刷します。キーワードと印刷属性は、CSVファイル(印刷属性定義ファイル)で定義できます。印刷属性定義ファイルをより簡単に作成するためのツールとして、「CSVファイル作成ツール」を提供しています。

EDPdriver Professionalを活用した印刷処理の流れ(イメージ)



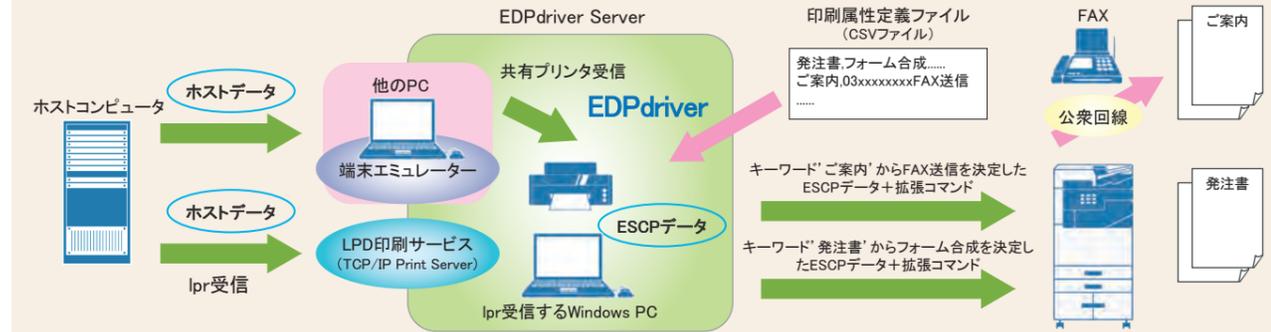
注) ホスト側の出力方法によって、複数ジョブがまとめて1ジョブとして印刷指示されることがあります。この場合、EDPdriverはジョブの仕分け処理は実施しません。先頭ジョブのキーワードを元に属性を決定します。

EDPdriver Server

EDPdriver Professional版の機能に加えて以下のソリューションを提供します。

- 他のPC上の端末エミュレーターからEDPdriver Serverの共有プリンターに対して、印刷を実行することが可能
- LPD印刷サービスを使用して出力
端末エミュレーターを使わずに、ホストから、直接印刷データをlpr転送することで、Windows PCにあるEDPdriverに対して、印刷を実行することができます。このとき、あらかじめ、EDPdriver Serverをインストールしたマシン(PC)上において、LPD印刷サービスを起動しておく必要があります。

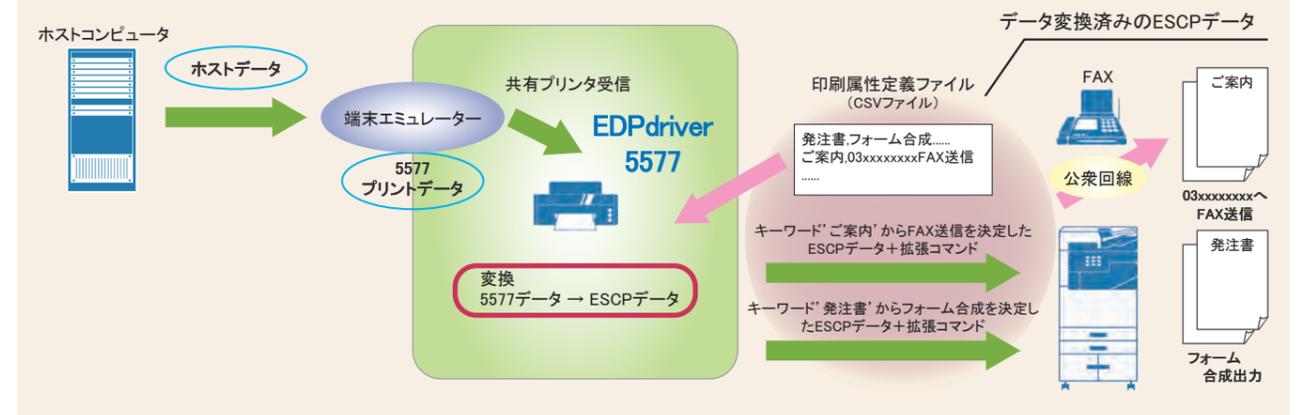
EDPdriver Serverを活用した印刷処理の流れ(イメージ)



EDPdriver 5577

- 5577プリンターのデータを扱うことが可能
端末エミュレーター経由で出力される5577プリンターのデータを、ESCPデータに変換し、富士フィルムビジネスイノベーション(株)独自の拡張コマンドを付与して出力します。
- データ中のキーワードを元に印刷属性を自動決定して印刷する「データ属性自動判別機能」搭載！
プリンターセッションは1つで、ESCPに変換した後のデータでキーワード検索を行い、印刷属性を自動決定して印刷します。キーワードと印刷属性は、CSVファイル(印刷属性定義ファイル)で定義できます。

EDPdriver 5577を活用した印刷処理の流れ(イメージ)

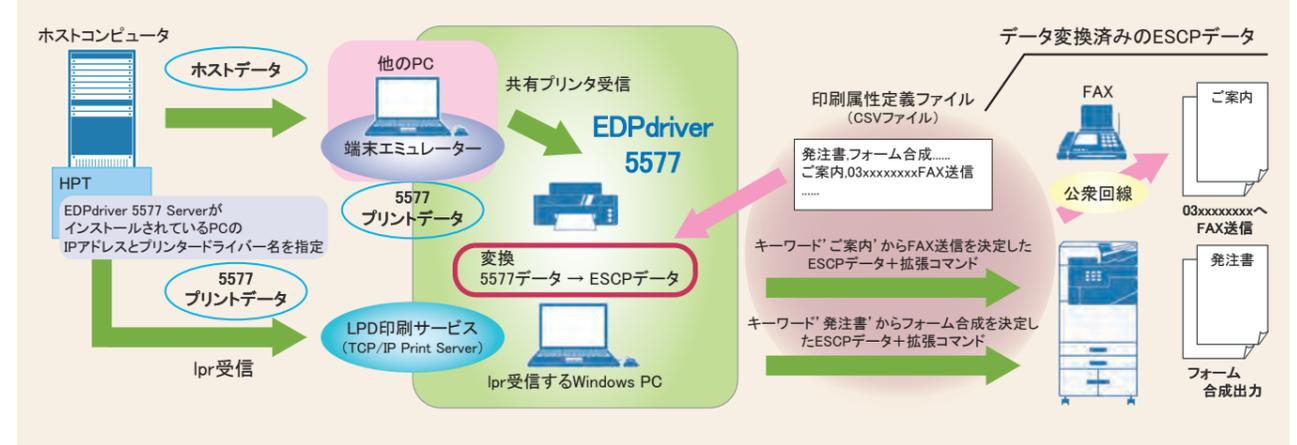


EDPdriver 5577 Server

EDPdriver 5577版の機能に加えて以下のソリューションを提供します。

- 他のPC上の端末エミュレーターからEDPdriver 5577 Serverの共有プリンターに対して、印刷を実行することが可能
- LPD印刷サービスを使用して出力
端末エミュレーターを使わずに、ホストから、直接印刷データをlpr転送することで、Windows PCにあるEDPdriverに対して、印刷を実行することができます。このとき、あらかじめ、EDPdriver 5577 Serverをインストールしたマシン(PC)上において、LPD印刷サービスを起動しておく必要があります。

EDPdriver 5577 Serverを活用した印刷処理の流れ(イメージ)



EDPdriver CSVファイル作成ツール

「データ属性自動判別機能」で使用する印刷属性定義ファイルの作成/編集をGUIで行うためのソフトウェア

- 印刷属性定義ファイルは、「CSVファイル作成ツール」を使用することで、より簡単に作成することができます。